

平成29年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量

西洋なしの収穫量は前年産に比べ6%減少、
かきは同3%減少、くりは同13%増加

【調査結果の概要】

1 西洋なし

全国の結果樹面積^(注)は1,490haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

収穫量は2万9,100t、出荷量は2万5,700tで、前年産に比べそれぞれ1,900t（6%）、1,600t（6%）減少した。

2 かき

全国の結果樹面積は1万9,800haで、前年産に比べ600ha（3%）減少した。

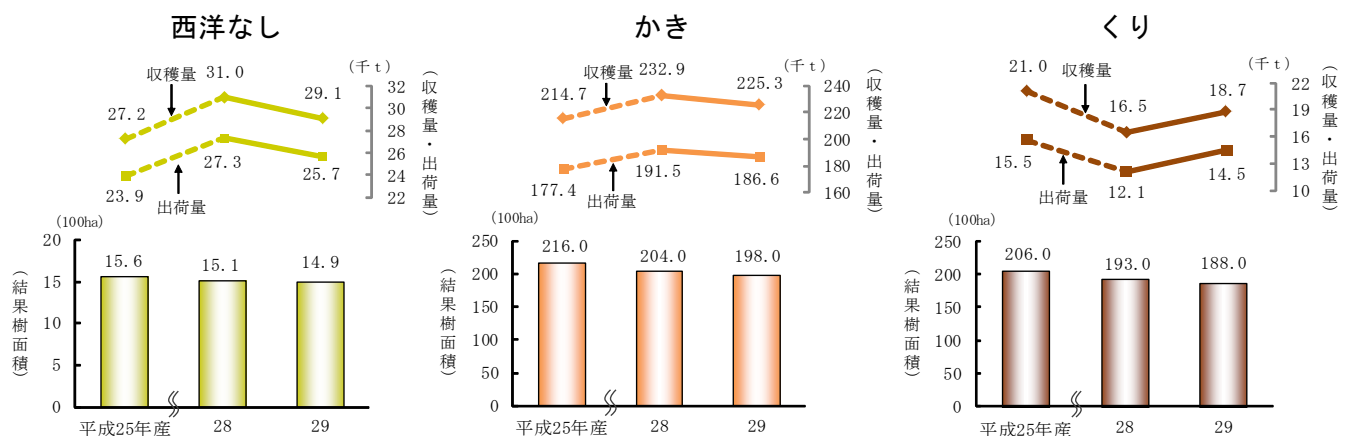
収穫量は22万5,300t、出荷量は18万6,600tで、前年産に比べそれぞれ7,600t（3%）、4,900t（3%）減少した。

3 くり

全国の結果樹面積は1万8,800haで、前年産に比べ500ha（3%）減少した。

収穫量は1万8,700t、出荷量は1万4,500tで、前年産に比べそれぞれ2,200t（13%）、2,400t（20%）増加した。

図1 西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量（全国）



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y8】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

1 西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 20 年産	1,700	1,970	33,500	29,500
21	1,680	2,000	33,600	29,600
22	1,640	1,600	26,200	23,200
23	1,590	1,670	26,600	23,300
24	1,570	1,500	23,600	20,700
25	1,560	1,740	27,200	23,900
26	1,520	1,610	24,400	21,400
27	1,510	1,930	29,200	25,700
28	1,510	2,050	31,000	27,300
29（概数）	1,490	1,950	29,100	25,700

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』（2及び3の統計表において同じ。）

2 かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

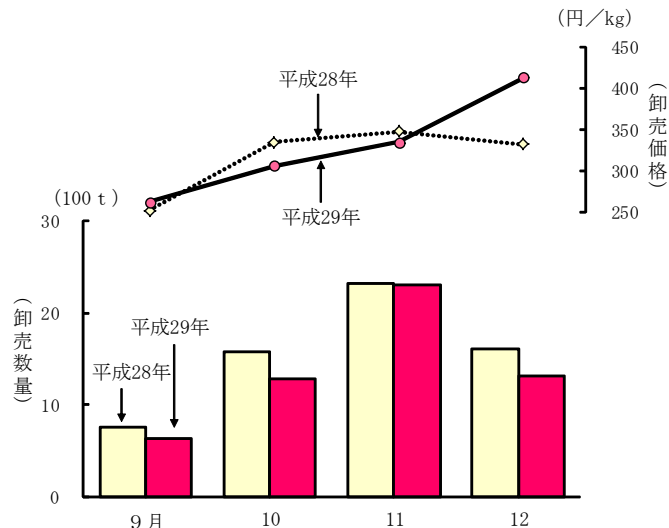
区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 20 年産	23,000	1,160	266,600	213,400
21	22,700	1,140	258,000	212,100
22	22,400	846	189,400	155,100
23	22,100	939	207,500	170,300
24	21,900	1,160	253,800	209,300
25	21,600	994	214,700	177,400
26	21,300	1,130	240,600	198,900
27	20,800	1,160	242,000	198,600
28	20,400	1,140	232,900	191,500
29（概数）	19,800	1,140	225,300	186,600

3 くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 20 年産	22,500	112	25,300	18,300
21	22,100	98	21,700	15,600
22	21,700	108	23,500	17,100
23	21,400	89	19,100	13,800
24	21,000	100	20,900	15,300
25	20,600	102	21,000	15,500
26	20,200	106	21,400	16,000
27	19,800	82	16,300	11,800
28	19,300	85	16,500	12,100
29（概数）	18,800	99	18,700	14,500

◎ 関連データ

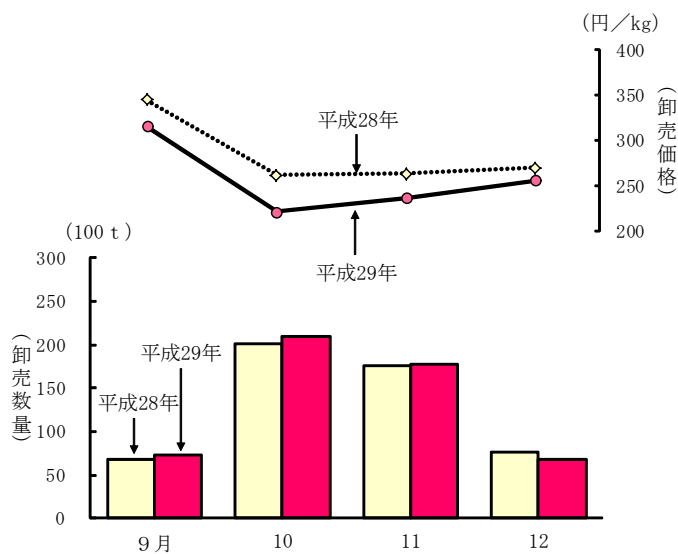
1 西洋なしの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）



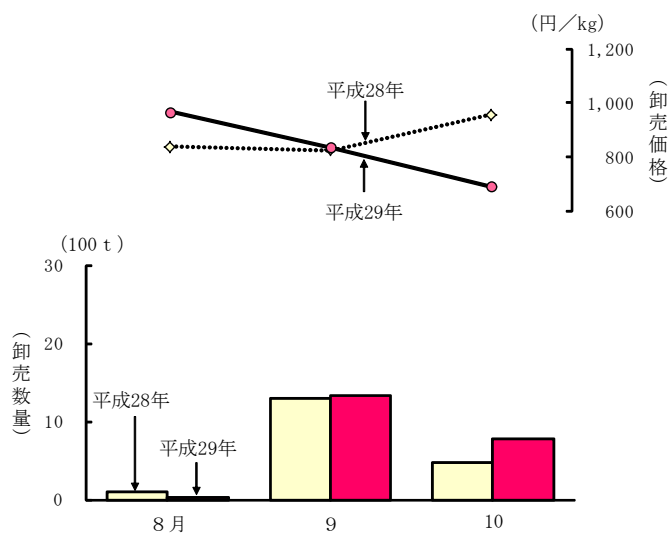
資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」
（2及び3のグラフにおいて同じ。）

注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を加算し算出したものである（2及び3のグラフにおいて同じ。）。

2 かきの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）



3 くりの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）



【調査結果】

1 西洋なし

(1) 全国の結果樹面積は1,490haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

(2) 全国の10a当たり収量は1,950kgで、前年産に比べ100kg（5%）下回った。

これは、山形県において、降雪による枝折れにより着果数が少なかったこと、開花期以降の少雨、低温・日照不足の影響で果実の肥大が抑制されたこと及び台風による落下の被害が発生したためである。

(3) 全国の収穫量は29,100t、出荷量は25,700tで、前年産に比べそれぞれ1,900t（6%）、1,600t（6%）減少した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図2 西洋なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

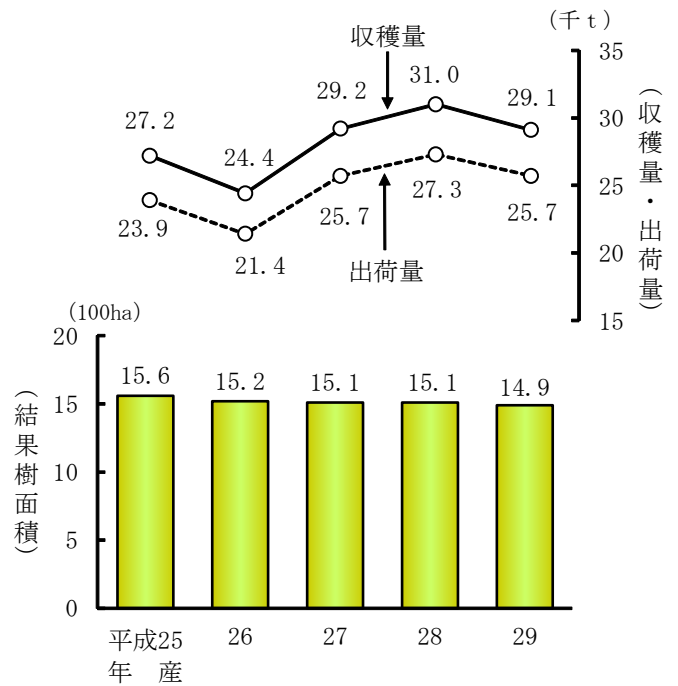


図3 西洋なしの都道府県別収穫量

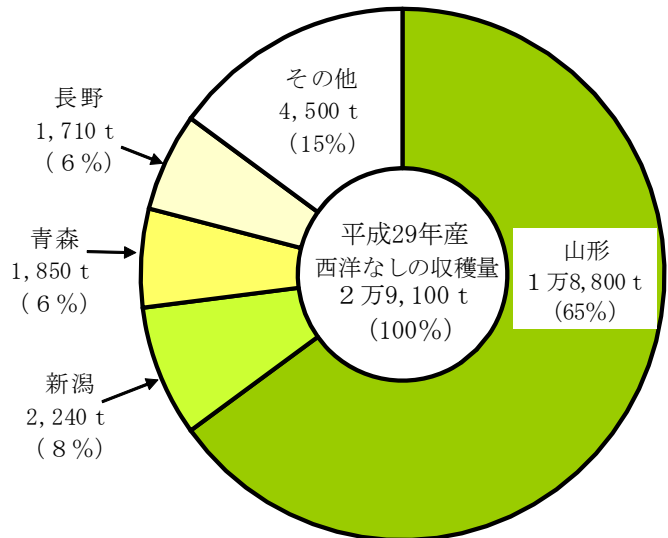


表1 平成29年産西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西洋なし	1,490	1,950	29,100	25,700	99	95	94	94

2 かき

(1) 全国の結果樹面積は1万9,800haで、前年産に比べ600ha（3%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

(2) 全国の10a当たり収量は1,140kgで、前年産並みとなった。

(3) 全国の収穫量は22万5,300t、出荷量は18万6,600tで、前年産に比べそれぞれ7,600t（3%）、4,900t（3%）減少した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が21%、奈良県が15%、福岡県が8%、岐阜県及び愛知県がそれぞれ6%、新潟県が5%となっており、この6県で全国の約6割を占めている。

図4 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

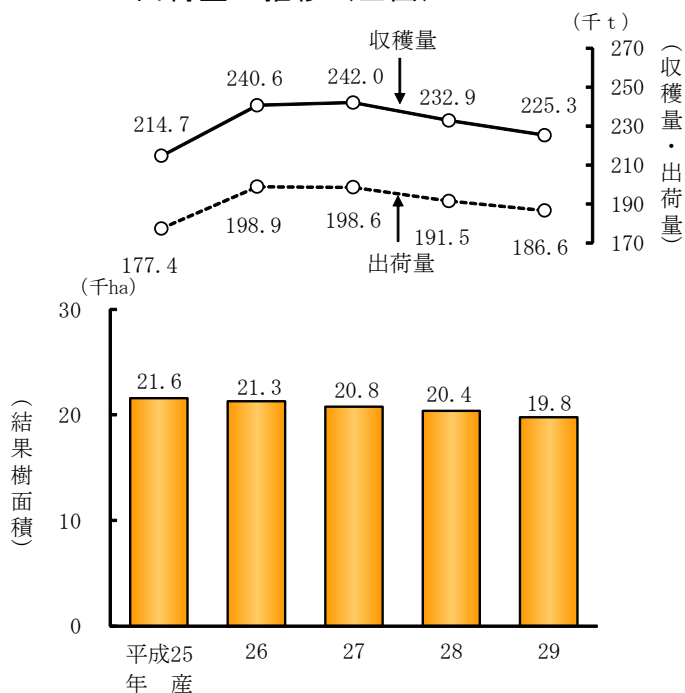
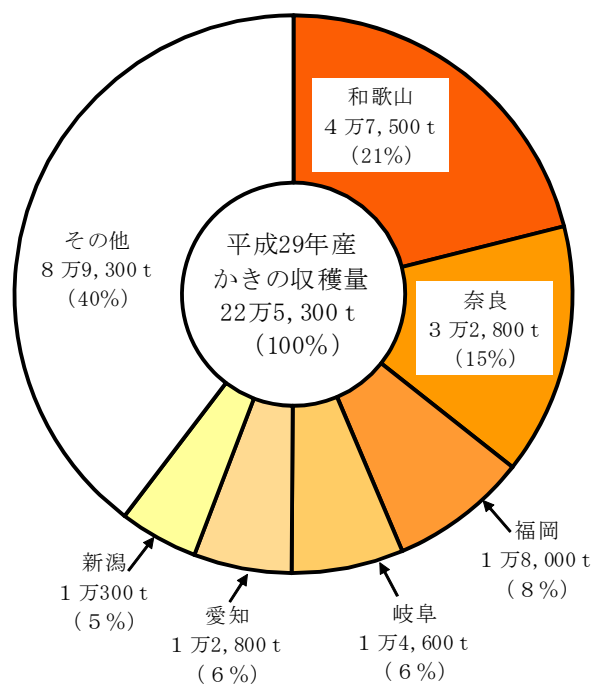


図5 かきの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表2 平成29年産かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
かき	19,800	1,140	225,300	186,600	97	100	97	97

3 くり

(1) 全国の結果樹面積は1万8,800haで、前年産に比べ500ha(3%)減少した。
 これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

(2) 全国の10a当たり収量は99kgで、前年産に比べ14kg(16%)上回った。
 これは、前年産に比べ着果数が多く、おおむね天候に恵まれ順調に生育したためである。

(3) 全国の収穫量は1万8,700t、出荷量は1万4,500tで、前年産に比べそれぞれ2,200t(13%)、2,400t(20%)増加した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、茨城県が22%、熊本県が15%、愛媛県が10%、岐阜県が4%となっており、この4県で全国の約5割を占めている。

図6 くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移(全国)

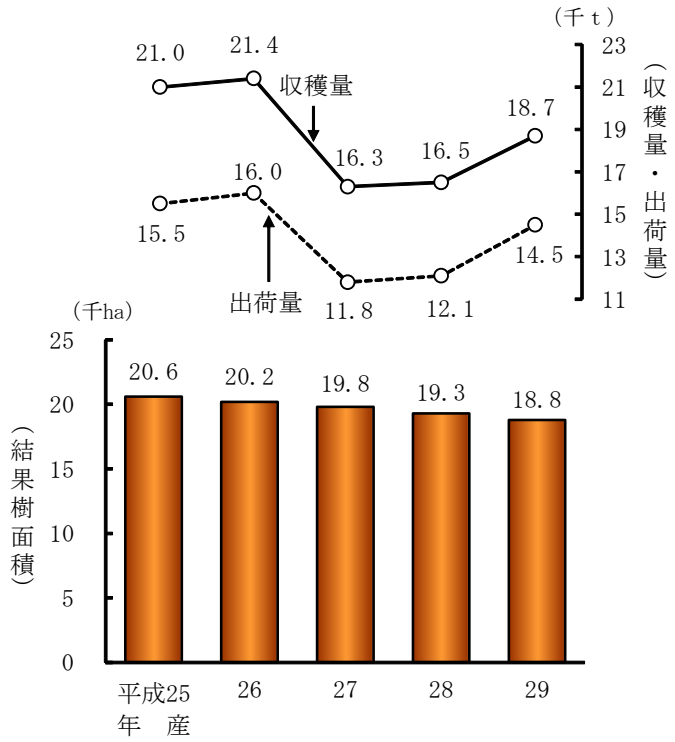
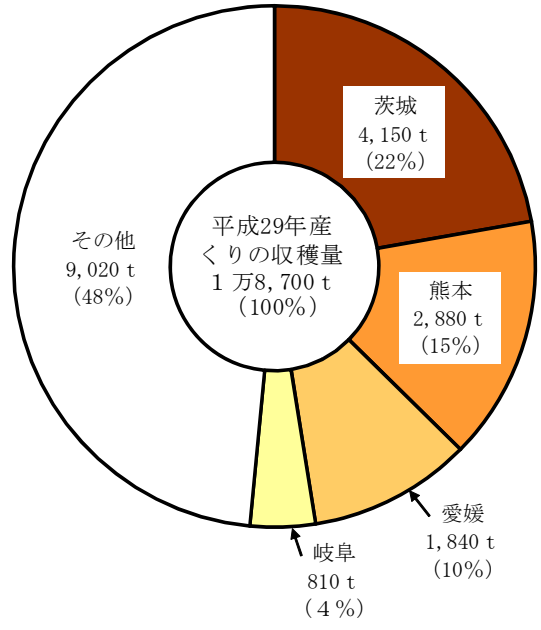


図7 くりの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表3 平成29年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量(全国)

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
くり	18,800	99	18,700	14,500	97	116	113	120

【統計表】

1 平成29年産西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	1,490	1,950	29,100	25,700	99	95	94	94
うち 青 森	137	1,350	1,850	1,480	97	96	94	94
山 形	859	2,190	18,800	16,600	99	91	90	90
福 島	38	1,870	711	640	100	100	100	100
新 潟	108	2,070	2,240	1,970	101	125	126	125
長 野	97	1,760	1,710	1,550	98	103	101	102

注：1 調査は、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県（主産県）を対象に実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した（以下同じ。）。

2 平成29年産より、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を、出荷量から栽培面積に変更した（以下同じ。）。

2 平成29年産かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	19,800	1,140	225,300	186,600	97	100	97	97
うち 宮 城	340	310	1,050	375	nc	nc	nc	nc
山 形	856	878	7,520	6,120	97	98	96	96
福 島	1,090	828	9,030	7,510	96	144	139	137
茨 城	385	861	3,310	2,870	nc	nc	nc	nc
新 潟	646	1,600	10,300	9,480	99	98	96	96
富 山	283	572	1,620	1,180	100	104	104	104
石 川	294	462	1,360	799	101	107	108	111
福 井	134	598	801	535	99	93	92	96
山 梨	548	997	5,460	4,650	98	70	68	74
長 野	653	1,270	8,290	6,640	100	80	80	72
岐 阜	1,250	1,170	14,600	13,200	98	94	92	92
静 岡	477	1,070	5,100	2,810	nc	nc	nc	nc
愛 知	1,150	1,110	12,800	9,830	97	86	84	84
三 重	386	901	3,480	2,190	nc	nc	nc	nc
奈 良	1,810	1,810	32,800	30,800	100	96	96	97
和 歌 山	2,540	1,870	47,500	42,800	98	104	102	102
鳥 取	282	1,040	2,930	2,360	97	109	106	107
島 根	315	784	2,470	1,990	93	120	112	112
岡 山	395	827	3,270	1,540	nc	nc	nc	nc
広 島	370	714	2,640	1,000	nc	nc	nc	nc
香 川	189	743	1,400	1,060	97	120	117	117
愛 媛	645	1,450	9,350	8,230	100	104	103	103
福 岡	1,430	1,260	18,000	16,700	91	121	110	111
熊 本	363	558	2,030	1,680	nc	nc	nc	nc

3 平成29年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	18,800	99	18,700	14,500	97	116	113	120
うち 秋 田	237	69	164	52	nc	nc	nc	nc
茨 城	3,520	118	4,150	3,700	96	116	111	121
栃 木	506	96	486	346	94	107	101	120
埼 玉	670	98	657	502	99	108	106	126
千 葉	407	90	366	263	96	114	110	122
東 京	430	75	323	263	nc	nc	nc	nc
神 奈 川	424	87	369	294	100	100	100	107
石 川	137	88	121	95	99	104	103	106
長 野	243	218	530	415	100	98	98	98
岐 阜	422	192	810	640	97	112	109	112
静 岡	261	132	345	207	nc	nc	nc	nc
京 都	435	68	296	205	nc	nc	nc	nc
大 阪	140	74	104	81	96	97	94	94
兵 庫	530	93	493	400	100	145	145	183
島 根	102	60	61	32	94	103	97	97
岡 山	332	95	315	161	nc	nc	nc	nc
山 口	742	77	571	360	97	115	111	107
香 川	52	61	32	17	96	122	119	131
愛 媛	2,110	87	1,840	1,540	100	109	108	108
福 岡	250	104	260	228	nc	nc	nc	nc
熊 本	2,570	112	2,880	2,600	96	140	135	136
大 分	412	86	354	290	98	104	101	102
宮 崎	781	76	594	522	98	89	88	89

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業保険法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており（直近では平成26年産）、その中間年に当たる本年産にあつては、調査対象品目ごとに、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

なお、平成29年産より、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を、出荷量から栽培面積に変更した。

(2) 調査対象者の選定

ア 関係団体調査（全数調査）

主産県において、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培し、関係団体以外に出荷した農林業経営体から無作為に抽出をした。

(3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
西洋なし	102	97	95.1	3,232	303	9.4	215	71.0
かき	201	194	96.5	15,491	2,031	13.1	1,414	69.6
くり	123	118	95.9	11,195	2,221	19.8	1,472	66.3

注：「有効回収数」は、回収があったもののうち、当年産において栽培がなかった標本経営体等を除いた数である。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び自家用、無償の贈与の量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
西洋なし	平成29年9月～10月
かき	平成29年9月～12月
くり	平成29年8月～10月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10 a 当たり収量を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに結果樹面積を乗じて算出している。

出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた出荷率等を基に算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国値は次により推計した。

ア 結果樹面積

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

(注)「栽培面積」は、農林水産省大臣官房統計部が平成29年10月に公表した「平成29年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）」による。

イ 収穫量及び出荷量

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \frac{\text{平成26年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{平成26年産の主産県値}}$$

(注) 全国調査を行った平成26年産の調査結果による。

7 実績精度

本調査の収穫量に係る調査結果（主産県計）の実績精度（標準誤差率の推定値）は次のとおりである。

区 分	標準誤差率(%)
西洋なし	1.4
か き	0.9
く り	2.0

8 用語の解説

- 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- 出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量等を差し引いた重量をいう。

9 利用上の注意

- 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数（下から）		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- 表中に用いた記号は、次のとおりである。

「nc」：計算不能

- (3) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成29年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（平成30年12月予定）するとともに、その後刊行する『平成29年産果樹生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。

【http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y8】

【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 園芸統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3680

（直通）03-6744-2044

F A X : 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

F A X : 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>